



6/25
土

3年ぶりに開催！市民水泳大会

県立総合プールで、大野城市民水泳大会が行われました。小学3年生から80歳代までの48人が参加し、大会新記録が16部門で更新されました。

今年度からは競泳システムを導入し、正確なタイムが測れる本格的な大会となりました。参加者からは、「まるでオリンピック選手のような。楽しく泳ぐことができました。」「親子で参加することができて、とても貴重な経験だった。」「3年ぶりなので不安もあったが、泳ぎ切ることができた。来年も頑張りたい。」といった声が寄せられました。



7/1
金

みんなの幸せのために 差別のない明るいまちを

毎年7月は同和問題啓発強調月間です。啓発活動の一環として、市長をはじめ市議会議員、県職員、人権擁護委員、保護司、コミュニティ運営協議会役員が、イオン大野城、西鉄春日原駅・白木原駅・下大利駅で、研修会の案内などを配布しました。

他にも、コミュニティ別人権・同和問題研修会などさまざまな活動を通して、差別のないまちづくりに向けた啓発を行いました。



新型コロナウイルスの 感染拡大防止に協力を

基本的な感染予防策（ワクチン接種後も継続を）

- ◇こまめな手洗い・手指消毒
- ◇マスクの正しい着用
- ※夏は熱中症予防のため、屋外でマスクが必要でない場面（人との距離が確保できる・会話をほとんど行わない）では、マスクを外すことを推奨

密接・密集・密閉の回避

- ◇一つの密でも避け、しっかり換気を行う
- ◇人と人との距離を十分に保ち、大声は避ける
- ◇体がだるい、熱がある、のどに違和感があるなど、いつもと体調が異なる時は、出勤や登校を控える

●医療機関の受診に関する相談

- ◇筑紫保健福祉環境事務所（受診・相談センター）
（平日 午前8時半～午後5時） ☎(707)0524
- ◇夜間・休日（土・日曜日、祝日） ☎(643)3288

●問い合わせ先

健康課健康長寿担当
（すこやか交流プラザ内）
☎(501)2222



支援策

熱中症に注意を

暑い日が続き、熱中症にかかる人が増えています。特に、高齢者は体内の水分が不足しがちで、暑さに対する感覚が鈍く、調節機能が低下しているため、注意が必要です。

熱中症対策

- ◇エアコン・扇風機を上手に使う
- ◇のどがかわく前から、こまめに水分補給を行う
- ◇栄養バランスのとれた食事を心がける
- ◇外せる場面ではマスクを外す

●問い合わせ先

- ◇この記事について
すこやか長寿課地域包括支援センター担当 ☎(501)2306
- ◇熱中症の啓発動画について
春日・大野城・那珂川消防本部 ☎(584)1191



高齢者の
熱中症対策



熱中症予防
啓発動画

